

数学の基礎をわかりやすく

総合科学部 自然システム学科

大沼 正樹 おおぬま まさき



「それが大切ですよ」と、授業の前には小テストを行い、学生の理解度を把握しながら授業を進めるようにしています。今年の授業は線形代数をはじめ微積分や解析学の基礎を担当。線形代数とは高校で習ったベクトルや行列などを含む分野の数学で、あらゆる科学・技術において最も基本的な数学であると言えます。

山形県生まれの先生は、北海道大物理学部数学科を卒業後、いくつかの職を経て、1998年に徳大へ。

中学時代の数学の先生との出会いが数学への道を決定しました。

「教科書に書かれてないこともわかりやすく、おもしろく教えてくれました」

当初は高校の先生になりたいと思って大学に進学しましたが、大学での数学の面白みを知り大学院へ。

先生の専門は偏微分方程式です。未知関数とその導関数の関係式として書かれている方程式のことで、例えば北大時代には、雪の結晶成長のメカニズムを研究する実験を見て興味を持ち、結晶成長モデルを簡略化した曲面の運動方程式などに

大沼先生は、「予習よりも復習す



ついて研究していました。曲面の運動方程式

とは曲面の曲がり方によって曲面の運動が決まる方程式です。

教えることも大事ですが、自分の研究時間もほしいという大沼先生。

「授業があるとなかなかむずかしいんですが、なんとか時間を見つけて取り組みたいですね」

**徳島大学の教育力
魅力ある授業**

受講生のコメント
要点をまとめてくれて教えてくれますので、むずかしい教科書の内容もよくわかります。また毎回、最初に小テストがあり、前回の授業の復習もできて助かります。

夏号特集「徳大のおたから」を読んで



- このような貴重な文化財を徳大が保有していることに驚きました。集めて展示会ができるといいなと思いました。
- 「徳大のおたから」は資料として貴重だと思うが、大学の広報誌としては、徳大の歴史的存在感を示す内容とは余りなっていないように思われた。広報という観点から長い歴史や伝統を伝える構成であ

- ればよかったのではないかと思います。
- 新しい視点からの特集で興味もてた。
- できればシリーズにし、エピソード等を盛り込み、コラムのようにしてはどうか？